

第6回 阿久比町総合計画審議会議事録

1. 議事日程 平成22年10月12日(火) 午後1時30分開会 場所 役場大会議室

1 会長あいさつ

2 町長あいさつ

3 議題

(1) 第5次阿久比町総合計画(基本計画)について

第5章 活力ある産業のまち(P138~P153まで)

第6章 みんなでつくる参画と協働のまち(P154~P172まで)

(2) 答申(案)について

(3) その他

2. 出席した委員(16名)

清水裕之 瀨瀬信子 大村泰敬 海月ルイ 山本澄代 知崎明美

新美正彦 梅川圭司 北中祥子 皆川徳成 竹内俊夫 竹内初成

中嶋 昌 新美尚史 伊藤直人 吉住まり子

3. 欠席した委員(4名)

佐治有孝 竹内正順 杉浦幹夫 竹内幸太郎

4. 出席した町職員(10名)

町長 竹内啓二 副町長 近藤 博 教育長 鳥居久男 総務部長 間瀬政好

民生部長 榊原章夫 建設部長 新海俊彦 教育部長 瀧塚政明

企画財政課長 竹内昌弘 企画電算係長 野崎秀幸 主事 河合裕司

5. 出席したその他の者(1名)

㈱ぎょうせい総合研究所 研究員 伊沢雅史

6. 会議に付した事項

議事日程に同じにつき省略

7. 議事の経過の事項

午後1時30分開会

(進行 総務部長)

1 会長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

3 議題 (以下新美会長による進行)

(1) 第5次阿久比町総合計画 (基本計画) について

第5章 活力ある産業のまち (P138～P153まで)

建設部長より中間報告からの修正箇所について説明。

第6章 みんなでつくる参画と協働のまち (P154～P172まで)

総務部長より中間報告からの修正箇所について説明。

(2) 答申 (案) について

新美会長により、総合計画案について審議会としての最終確認、答申について説明。

(3) その他

企画財政課長より今後の開催日程など説明。

<質疑>

(1) 第5次阿久比町総合計画 (基本計画)

【第5章 活力ある産業のまち (P138～P153まで) について】

北中祥子委員

151ページにあるエスペランス丸山について、エレベーターの設置は難しいのでしょうか。階段がたくさんあり、私が所属する団体には年長者が多く2階の大広間を利用する際に上がったり降りたりするのが大変ですので、何か対応はできませんか。

建設部長

現在は、人にやさしいまちづくり条例などがあり公の施設等について、エレベーター、階段の手すりや自動扉が標準仕様になっていますが、エスペランス丸山を建設した当時は、まだその要件が備わっていなかった経緯があります。エレベ

ーター設置については、建物の幅があまりないため、設置スペースがとれるのかここでは即断できません。一度検討させていただくということをお願いしたい。

北中祥子委員

143ページに観光協会の設立とありますが、阿久比ふるさとガイドボランティアという14～15人の会をつくって、現在、宮津地区と卯之山・坂部地区などの旧跡、旧町並みなどの説明を頑張っています。

転入してきた者にとって、阿久比町にはすばらしい旧跡、史跡があり、非常に発展した文化的なまちだと思って感心しています。

そういうことで、知多半島の市町では、阿久比町だけが観光協会がないと聞いていますので、目玉になるものを何にするのか、若い人たちが阿久比町を語り継ぐというぐらいの気持ちで、観光を推進していただき、まちを愛する気持ちをもっと育てたらよいと思っています。

阿久比町には素晴らしいものがありますので、観光協会ができて、活発に働くようになれば、非常によいことだと思いますので、設立のおおよその時期を教えてくださいたいと思います。

建設部長

この総合計画審議会の委員にも観光協会設立に向けた準備委員の方がいますが、定期的に会合を開催しています。当初目標は年度内に観光協会の立ち上げ、会員募集も行いたいと進めていましたが、スケジュール的に5月か6月ぐらいまでかかるかと思います。そのころには会員募集し、観光協会の設立となるよう取り組んでいる最中です。

北中祥子委員

阿久比ふるさとガイドボランティアも頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくをお願いします。

建設部長

そういうボランティアと絡んだ形の観光行事が実施できれば、非常に有意義だ

と思いますので、ぜひよろしくをお願いします。

新美尚史委員

第1節の農業のところ、140ページの成果目標の認定農業者数というのが出ていますが、この認定農業者数というのはどういったものなのか。

また、138ページで、専業農家、兼業農家の数の推移等があり、年々減少しているが、この実際の数字とこの成果目標とどう関係してくるのか、関係していないような、成果目標のほうだけ一人歩きしているのではと感じますので、現実との兼ね合いはどのように考えておられるのかお聞きしたい。

建設部長

138ページにある農家数は、5年に一度の農林業センサスに基づく数字で、140ページの認定農業者数は、実際に農業を行っている方で、農業経営計画などで県知事の認定を受けられた農業者の数となっています。

成果目標に認定農業者数を挙げたのは、やはり専業で農業をやられる方、そういう認定農業者の資格なり知識を持った農業者を増やしたいというのが町の考え方ですので、全体の概要的なものは、138ページでの推移もありますが、産業課としてはこの認定農業者を中心に考えているという意味で掲げています。

新美尚史委員

実質の傾向として農家数が減ってきている。専業農家数も横ばいであるといったような状況の中で、認定農業者数の数字を5年後には11に増やし、さらに5年後にはその3割を増やすというような成果目標というのが、果たして見込みのあるものなのか。

この総合計画に夢のような数字を盛り込むというのはいかがなものかと思いますが、産業課として、こういう根拠があつて、この数字を出しているなら別に問題はありませぬ。夢物語のような数字であればぜひ訂正していただいたほうがよいと考えますが、いかががでしょう。

建設部長

決して、夢物語で掲げてはいません。また、農家数というのは1軒、2軒の戸数でありますので、例えば、親が認定農業者で、息子が今度認定農業者になるということは可能な話でありますし、例えば、農業と会社員をやっていて、会社員をやめた後に跡を継ぐ方も、認定農業者になることができます。そういう認定農業者としての資格を取られる方をこの60、80という数字まで持っていきたい。これは成果目標として産業課として掲げている数字だにご理解いただければと思います。

新美尚史委員

阿久比の農業の未来が非常に明るいものだとということがわかりました。

山本澄代委員

現在、女性の認定農業者数は少ないと思います。今言われたように、お父さんと息子は認定農業者になるのですが、実際農業をやっていてお母ちゃんが一番力を持っています。そのところの人数をここに増やせば、この数字は幾らでも上がります。女性の認定農業者を増やすための支援はできないのでしょうか。

建設部長

認定農業者は本人の申請によりますので、ご主人が認定を受けていると奥さんからはあまり申請がありません。また、認定農業者のメリットが若干弱いところがあり、融資制度くらいであまりプラスになることがないのかということで取られない方もあるのかなと思いますが、女性農業者にも積極的に進めさせていただきます。

梅川圭司委員

農業や工業にある「ブランド化」ですが、阿久比町の物産、ブランド物の展示が少ないと思います。阿久比町の物産というか、ブランドのもの、これの展示がどこにもない。役場へ行けば、大体どこの役場でも特産品を展示しているのに阿久比町ではしていない。また、阿久比の人がよそへ土産を持っていく場合に、半田とか東海市のものであったりする。阿久比にも特産品があるが、あまり宣伝さ

れていない。阿久比町に酒屋があるが、どこにあるのか、どういう銘柄なのかを知っている人は少ないと思う。

阿久比は農業のまちだというが、レンゲ米がどこで売っているのか。農協へ行くと確かにある時期はありますが、ほとんど売られていない。それから町内の大型スーパーにもない。

そういう点で、もっと阿久比町の特産品を宣伝するようなことを考えていただきたいというように思います。

建設部長

レンゲちゃんは農協、げんきの郷、草木の直売所にも置いてあったかと思いますが、レンゲちゃんは予約が多く、アピタとかピアゴで買われるお米の値段より正直少し高いです。高いけれども有機栽培・減農薬でレンゲをすきこむ形で米をつくっているのも味のいい米を町内で、くらしの会などの会員さんは40～50人に買っていていますが、そんな形になっているため、残念ながら市販ベースにはなかなか乗らないです。

特産品の展示については、役場の玄関では、物理的に狭く、展示する箇所がないので、議会の一般質問でもありましたが、新しい庁舎を建てたときは展示スペースを設置するので、それまでの間は写真等でPRする方法を担当課で考えますとお答えをしました。

梅川圭司委員

場所がないという問題はあるかと思いますが、南館のホールに阿久比町にはこういう会社がある、その会社ではこういうものをつくっているという、パネル写真などで掲げたほうが、阿久比町には全国的に有名な会社があると展示してはどうか。知っている人はいるが、お酒を飲まれる方も町内の酒屋の銘柄は知らない人が多いと思います。こういうことは阿久比の産業の発展のためにあまりよくないと思います。レンゲ米も確かに需要ほど生産がない現状があるかもしれませんが、レンゲ米、レンゲ米と言っている以上は、購入場所などをもっと宣伝してもよいかと思います。

阿久比の人がよそに行くときに、阿久比のものを持っていけるように、商業、

農業の発展を外に向けて宣伝をしてもらってもいいと思います。

建設部長

そういうことも含めて、先ほど観光協会の話がありましたが、おっしゃるとおりPRが上手ではありません。それは、例えば、行政ですと特定の企業や商品はPRしにくい面があります。しかし、観光協会であれば、行事や商品をPRしやすくなります。これが観光協会を設立するメリットであり、もっと町の特産品などを上手にPRするために観光協会を設立したいというのが、町の今の考えであります。

皆川徳成委員

梅川さんがいわれたように、総合計画の中でも、観光協会設立とか、また、観光農園とか、商工業、農商工連携とか、そういった観光農業推進とか、いろいろ出てきていますが、その中で何か1つぐらいはできるといいかなと思いますが、梅川さんの話を聞いている中で、今立ち上げようとしている観光協会が、農業、商業、工業の方もすべてが会員となって阿久比町を盛り上げていくということは、正直言って今の準備委員会のものは大体わかっていると思います。しかし、町民の皆さんははまだ十分わかっていないと思いますので、この10年間の計画の中に、具体的に何か1つうまく入れていただけるといいかなと思います。例えば、この審議会の委員の方々でも、こういった方法があるといったことがあればお気軽に声をかけていただきたいと思います。

建設部長

ブランド化、観光農業、農商工連携事業にしましても、農家の人がつくったものを加工して新しい製品をつくるにしても、やはり観光協会を通してPRをしないと、この農商工連携の事業をやったとしてもあまりうまくいかないと考えています。ただつくるだけではなく売れなければいけないものですから、観光協会を通して、製品をPRしていこうということで、観光協会の設立の意義は大きいと考えています。

農業においては、農業生産担い手の確保や生産性の向上、環境にやさしい農業

の推進というような、現在実施している農業技術的な部分も掲げていますが、商工業に関しても、主要施策の中でも観光協会を通じてとにかくPRをする、そのことで商品価値も上がるし、たくさん買っていただけることにつながっていくと思っています。

皆川徳成委員

もしできたら、審議会の委員の方からも何かお声が聞けたらいいなと思います。

新美尚史委員

梅川さんにはいろいろ教えていただきまして、ありがとうございました。

この行動指針のところにも掲げている、特産品の開発ということが今後大事になると思います。

何か1つ核になるものができて、そこから派生する商品が出てくると、町の産業もにぎやかになってくるとは思います。役場のやれることはやはり限りがあると思います。何も役場の方に特産品の開発をやっていただく必要はない、民間が何か特産品をつくったときに、しっかりと役場、公的なものが力を注入できるような支援体制はとっていただきたいと思います。

資金的な援助であったりとか、人的な応援であったりとか、観光協会を通じてでも結構ですので、何か種が芽を出すときにどんと力を注げるような体制というのが必要で、ともすれば役場の方は予算がないとか、計画にないというように、いろいろ枠があって大変かと思いますが、そういう準備はしておいていただきたいと思います。期待しています。

【第6章 みんなでつくる参画と協働のまち（P154～P172まで）について】

皆川徳成委員

156ページにある、委員を公募している審議会の数を増やす目標になっていますが、この目標についての説明をお願いします。

総務部長

委員を公募している審議会等の数については、現在、5つの審議会、委員会等

が公募しています。例えば、皆川委員も委員になっている循環バス、総合計画、それから保育所の統廃合に関する委員会等があります。先ほど計画の中で説明させていただきましたが、協働のまちづくりが今後重要ですので、様々な行政にかかわる審議会等で住民の方から多く意見を出していただくねらいで、この数字となっています。

皆川徳成委員

私もいろいろな委員になっていますが、社会福祉協議会の会長だから委員に選ばれると立場上断れない。例えば、できるだけ公募で委員を選ぶとか、もう少し若い住民が入れるような、何かいい方法があったらお聞かせいただきたい。

総務部長

町としては、専門的な方、有識者の方のご意見もお聴ききしたいし、一般公募で幅広く若い方、男女問わず広くご意見、ご提言がいただきたいので、何とかご参加のほうよろしくお願ひしたいと思います。

【基本構想・基本計画全体について】

梅川圭司委員

今、半田の岩滑に彼岸花がかなり咲いていて、岩滑に新美南吉の生家があるということで、かなり賑わっています。これは、時期的なものですが、非常に半田市は商売がうまいと思います。

新美南吉の生家は岩滑にあります。ホームグラウンドとしては阿久比のほうが多いと思います。阿久比が本当の新美南吉の生家とは言わないまでも、「ごんぎつねの山」があって非常に宣伝効果もあると思いますので、阿久比側からも宣伝をしたらどうかと思います。特に半田側はもう車の置き場がなくて、いつも交通整理でたいへんな賑わいです。そのため、植大のあたりに駐車場を用意すれば、阿久比からいけると思います。

最近では、ボランティア活動で堤防はきれいになりました。彼岸花もきれいに咲いています。そういう意味で良い環境になっており、観光地になるというか、そういう面で宣伝ができると思います。

それこそ、「ごんだんご」というような名前をつけてみたらしだんごでも売ったら売れるぞというようなことを言っている人もいました。そういう意味でも少し阿久比は宣伝が下手じゃないかと私は常々感じています。

町長

今の梅川委員の意見に関して、現在、西狐谷池という池の堤防改修等を行っています。町の計画ではありませんが、あの地区の方から、「ごんぎつね」のふるさとの権現山の周辺に池を利用した公園をつくったらどうかとご提言をいただいています。人が賑わうのは今のところ彼岸花の時期だけということで、なかなか難しいものがありますが、今後、頑張ってみたいと思います。

ブランド化について、レンゲ米の場合は、うまく行き過ぎたのですね。売るのがないのですから。それで農家の経営が成り立っていくのであれば、もっとたくさんレンゲ米をつくっていただきたいと思いますが、現在では限界が来ているという状況です。レンゲ米は農業賞を取り、上手く世間に広まりましたが、根底には歴史的に阿久比米というブランドがもう既にあったということだと思います。このため、農家でもレンゲ米だけではなくて阿久比米をもっと宣伝したいということで、これは阿久比町としても名前が売れることですから、協力体制をとっていききたいと思います。

庁舎内での阿久比の産業に関する展示について、確かにありませんので私たちも反省すべきですが、それと同時に、商工会館がありますので商工会のほうもそのあたりを強く押し出して行っていただきたいと思います。

農作物のブランドについて、何か新しくいいものができないかと農家の方々も研究されています。先日の新聞に金ゴマのことが掲載されましたが、現状はどうでしょうか。

山本澄代委員

金ゴマについては、工場へ出すならともかく、自分たちで製品化するには、すごく手間がかかりますので難しいと思います。しかし、生産者もそういう意欲を出さないといけないと思います。

町長

ブランド化や外部に対してのPRは、インターネット等もあるので取り組みやすいですが、やる手段は昔と違って直に宣伝することができますので、作家の海月委員に文章をつくってもらえば、全国的にPRできるのかなという気はしていますが、それに対応できるだけの農産物が確保できるのかどうか課題になるかと思います。

ちょうどCOP10の絡みで、金ゴマでも新聞等で外国人まで来ていいPRができた可能性があります。採算ベースにのらない中、生産部門への力をどういうふうに入れるかというのも大きな課題かと思います。また、阿久比町の農地は米に適した土地が多く、畑に使う土の部分がごく限られたところにしかないということもあります。そのあたりを農業者の方々と研究してやっていかないとと思っています。

例えば、道の駅で直売をしているところもありますが、365日商品を供給しなければいけません。私どもが学校給食センターで見ていると、なかなか製品として確保することが非常に難しい状況もあることからみると供給体制が整っていない。整わないから儲からない、農家を継ぐ人が減るといった悪循環を阿久比町が今たどっているかもしれません。やはり生産者、売る人が、意欲を持たないと、お金をかけて観光協会をつくったとしてもメリットがあるのかと言われると、なかなかこれは難しいところもあります。

このため、サポート体制をどうするかが大切になります。私が考えているものとして、今はやっていませんが、住民税の1%という部分のお金を、住民の方が参加した会議へ入れて、例えば、今言ったようなブランド的なものをつくろうよという案が出てきた場合に、それを立ち上げる際に、そのお金を使っただいて、そして軌道に乗せていくといったことができると考えています。

また、先ほど梅川委員のご意見にありました彼岸花のある地区に対して、住民と協働する資金として使えるようなシステムを私はつくりたいと考えています。

もうこれからは、行政だけのアイデアだけではなく、委員の皆さん、町民の皆さんからも広くご意見をいただき、阿久比のためにというふうに思っています。

吉住まり子委員

ふるさとガイドボランティアさんのお話を聞きながら、宮津を歩いたことがあります。知多半島の小京都という感じで、あの町並みをそのまま残して、それで、古い空き家でもあれば、それをきれいに整えて、阿久比でとれたものを、そこで召し上がっていただくという、そういう観光もいいかと思いました。

ごんぎつねについては半田市が、於大の方は東浦町が取り組んでいるので、阿久比は阿久比のもので、宮津の町並みを生かして、小京都という感じの観光はどうかと思いました。

新美正彦会長

宮津も一部分ありますけれども、町並みを歩いていただくというのも必要でしょう。そういう町並みを観光として広めていくということには、いろいろと難しい問題があるかと思いますが、委員の皆さんでそういう何か新しいアイデアがあればと思います。

皆川徳成委員

知多半島を観光圏として、一体となって観光振興を進めていますが、阿久比町はやはり知多半島の中心に位置しており、うまく利用することによって知多半島が1つとなっていく中では、絶対に盛り上がる1つの場所だと思います。

そうした中、彼岸花、ごんぎつね、花かつみにしても、何か1つにうまくまとめるというか、年間を通じて観光客を呼ぶことは、なかなかうまくいかないものですから、花かつみは芳池でなければいけないことはなく、歴史は歴史として守っていくとともに、町内でいい場所があればそういうイベントをすることで盛り上がってくると思います。

この計画の中に入れられるかはわかりませんが、歴史的なものをまとめて、観光地として観光バスがどんどん入るようなものなど、そういった観光振興を考えていきたいと思います。

山本澄代委員

観光に関しては、名鉄電車を活用して、阿久比のイベントなら阿久比駅からみんなでウォーキングをしながら巡ってもらい、直売や臨時直売でいいので、そこ

で何かを売るといったコースが考えられると思います。

次回は坂部駅から草木を巡るなど、名鉄を利用して観光地をウォーキングしてもらったほうがメリットはあると思います。

建設部長

観光協会の話をしたときに、そういうことだと思います。今町内で色々な行事や地区の役員さんがお骨折りで大変なお祭りや山車などをやっているのですが、例えば、名鉄電車と協賛して、知多市の佐布里池やなんかが梅祭りを開催すれば、名古屋からの観光客が巽ヶ丘駅や朝倉駅から歩いていらっしゃるというような、町内にある行事に観光客が来ていただけるような手法が必要だと思います。

観光協会を設立して、今ある行事を町外から見に来ていただけるような取り組みをすれば、わざわざ1つ大きいものをつくらなくても、十分観光的な要素はありますので、観光協会の設立はもう少しかかりますが、もう少しご辛抱いただければと思います。

【基本計画案の修正について】

新美正彦会長

これまで3日間の基本計画の審議において、計画の修正点について事務局から説明をお願いします。

企画財政課長

ただいま一覧表をお配りしておりますので、しばらくお待ちください。

それでは、基本計画につきまして、3日間に渡りご審議していただきましてありがとうございました。事務局といたしましては、委員の皆様方のご意見を尊重いたしまして、基本計画の修正をお願いしたいと思いますので資料をご覧ください。

<資料によりより修正箇所の説明>

なお、このようにまだ印刷まで日数がございますので、いま一度事務局のほうで精査いたしまして、誤字脱字等が発見された場合は、事務局に一任で修正させていただきますので、ご了承をお願いしたいと思います。

新美正彦会長

ただいまの修正について、意見がありましたらお受けします。

特に意見がないようですので、今の説明のとおり諮問案を修正することにいたします。以上で、基本計画の審議を終了したいと思います。

(2) 答申（案）について

新美正彦会長

それでは、議題2 答申案についてに移りたいと思います。

次回の審議会で町長に答申するわけですが、これまで、町当局から基本構想、基本計画について説明を受けました。諮問案は審議会委員の皆さんをはじめ、多くの方からの意見や町民まちづくり会議の提言など、うまく盛り込み、今後のまちづくりの方向性と施策をわかりやすく示した住民みんなのまちづくりの基本目標となるよう、大変よくでき上がっていると思いますが、ここで、審議会の委員の皆さんにお諮りします。

本審議会として、先ほどの修正案を加えた諮問案を第5次阿久比町総合計画として認めることにご異議ございませんか。

<「異議なし」と呼ぶ者あり>（拍手）

新美正彦会長

ありがとうございました。ご異議がないようですので、審議会として、第5次総合計画を認めることといたします。

次に、町長への答申案ですが、内容につきまして、これまで審議会の内容を振り返り、私と大村職務代理と事務局のほうで答申案をまとめて、次回の審議会におきまして皆さんにお諮りをしたいと思います。このように考えていますが、何かご意見ございますか。

特に意見がないようですので、次回の審議会で皆様にお諮りをした後、町長へ答申したいと思いますので、よろしく願いいたします。（拍手）

町長

本日はどうもありがとうございました。また、答申案につきましても、この内容でいただけるということで大変うれしく思っております。

清水先生におかれましては、今日にいたるまでいろいろとご指導いただき本当にありがとうございました。次回、ご都合が悪いようでございますので、ぜひ、ここで総括的な形でのごあいさつをいただけたらと思います。

清水裕之委員

どうもご苦労さまでした。何もできませんでしたが、阿久比町の皆さんの色々な阿久比町の思いがよく伝わってきて、とてもいい計画になっていくのだろうなと思います。これから公募型のいろんな審議会等がつくられると思いますので、ぜひ、それを、意見を言うだけではなくて実行できる体制をつくっていただければうまくいくと思いますので、ぜひ、皆さんご協力下さい。

どうも、大変楽しく参加してきました。どうもありがとうございました。

(拍手)

次回審議会開催日時：平成22年10月27日（水）午後1時30分より大会議室で予定。

午後2時58分閉会

阿久比町総合計画審議会運営規則第5条第3項の規定により、ここに署名する。

阿久比町総合計画審議会

会 長 新 美 正 彦